

わたしの目指す歯

守山市立吉身小学校 三年 下井 優依

わたしの頭の中には、いい歯のイメージがたくさんあります。むし歯にならない歯や、歯ならびがきれいな歯、ピカピカの白い歯など、たくさんのいい歯のイメージがあります。むし歯にならない歯もよいと思うけれど、わたしはやっぱり、「楽しくおいしく食べられる」がいいと思います。

今、わたしの歯はぐらぐらしています、大人の歯にはえかわるからです。わたしは毎日、それが気持ち悪くて、おいしくごはんが食べられません。大好きなごはんでも、気になっておいしく楽しく食べられないのです。だから「楽しくおいしく食べられる歯」が、わたしと思うさい高の歯です。当たり前なことだと思っていたけれど、ごはんをおいしくたべられることはとてもしあわせなことだと気づきました。歯がぐらぐらしたり、なくなったりすると、おいしくごはんが食べられません。そんな生活が続くと、きっと体全ぶの元気がなくなると思います。そうならないためにも、歯を大切にしないといけないなと思います。

わたしの母は、歯医者さんで働いていて、とても歯のことにきにしいです。歯みがきの仕方や、おやつ時間、食べ物やのみ物のしゅるいなど、いろいろきびしく言われます。わたしはときどき、いやになります。でも、よく考えると、その母のきびしさのおかげで、今の自分のけんこうな歯があるので、母にかんしゃしたいと思います。これからもずっと自分の一本一本の歯を大切にしていきたいです。まずは、毎日のはみがきをがんばりたいと思います。そして、いつまでも、「楽しくおいしく食べられる歯」を目指したいです。